

自然の家だより

平成31年
1月16日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

今季は暖冬と言われながらも、やはり寒さに身体が縮みます。どうしても、暖かい部屋で過ごす時間が増えてしまいがちですが、ずっと外にいる植物たちは、どのように冬を越しているのでしょうか。外を歩いていると、枯れずに葉を広げるタンポポ（右の写真）を発見しました。このような姿は「ロゼット」と呼ばれ、冬を越す野草の特徴です。今回はこの「ロゼット」について紹介します。



ロゼットとは？

地面に張り付くように葉っぱを広げた形のことだよ。

どうしてこの形なのかな？ 葉っぱと同じ体勢をしてみると・・・

【真上から】



身体全体に太陽の光が当たって暖かい！

【真横から】

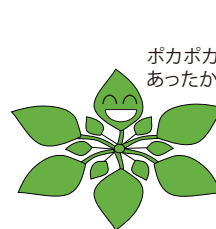


立っているときより、冷たい風があまり当たらないから寒くない！

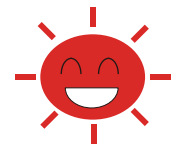
タンポポの他にどんな植物があるのかな？



葉っぱは先にいくほど広くなり、葉っぱ同士が重なり合わないようになっているものが多いよ。これだと、太陽の光がまんべんなく当たるね！



ポカポカ
あったかいなあ〜



みなさんも、学校や家の周りでロゼットをさがしてみてください。そして、寒いときは、友達と外で寝転がり、日なたぼっこ、ロゼットごっこなんてどうでしょうか。

